

令和4年2月8日開催

保健医療・高齢者等福祉対策特別委員会

委員長報告

令和4年3月定例会

委員長 大関修克

去る2月8日に開催されました当委員会の審査概要について、順次ご報告申し上げます。

初めに、報告事項の1「『川口市立医療センター経営改革プラン2021-2023』の進捗状況について」報告を求めましたところ、次のような説明をいたしました。

医療センターでは、令和3年度から5年度までの3年間を計画期間とする「川口市立医療センター経営改革プラン2021-2023」を策定しているとのこと。

本計画に定める主な重要評価指標の各指標は他の指標と密接に関連しており、一つの指標の良化により、他の指標も良化し経営状況に好影響を及ぼすことから、定期的かつ適切に各指標を点検、向上させることが重要と認識しているとのこと。

本計画の進捗状況としては、評価期間を令和3年度上半期と設定し、ベッド回転率、入院単価及び新入院患者数等の重要評価指標に基づき、分析を行なったとのことでありました。

以上のような説明に対して、平均在院日数の短縮化における患者への対応状況について問われ、これに対して、計画値に基づき平均在院日数の短縮化を図るとともに、退院後の患者自身の社会的自立を早めるために今後の治療方針等を記載した入院計画書の迅速な作成や、患者に対し退院後を見据え入院当初から丁寧な説明を行うよう努めているとのことでありました。

このほか、ICTの活用状況について等、質疑応答の後、本報告を終了いたしました。

最後に、報告事項の2「緩和ケア病棟の整備について」報告を求めましたところ、次のような説明をいたしました。

がん治療では、がん患者やその家族に寄り添い、全人的苦痛を和らげることが重要であり、地域がん診療連携拠点病院である医療センターにおいて、緩和ケア病棟、緩和ケア外来、緩和ケアチームを一体とした緩和ケアセンターの運用が求められていることから、急性期医療における緩和ケア病棟を整備するものであるとのこと。

整備の概要としては、医療センターの7階A及びC病棟部を改修し、病室18室のほか、多目的ホール、介助浴室、宿泊可能な家族控室、各種相談・面談室3室等を整備する予定であるとのこと。

整備・進捗状況として、計画当初は、令和2年度中の竣工・共用開始を予定していたが、整備場所を新型コロナウイルス感染症病棟としたことから、今後の使用状況に応じて、その整備を1期から5期に細分化して実施することとな

ったとのこと。

また、現在は1期、2期の整備を終えており、3期以降の整備については、今後の感染状況を注視しながら進めていく予定であるとのことでありました。

以上のような説明に対して、3期から5期までの整備期間について等、質疑応答の後、本報告を終了し、委員会審査を終了した次第であります。

以上で報告を終わります。